

委託業務題目	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究
分担研究者名	山口 武人
機関名	千葉県がんセンター

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果		発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
発表題目	口頭・ポスター発表等の別				
膵嚢胞性疾患への集学的アプローチ 術前画像診断と膵液細胞診によるIPMN組織亜型診断 新たな視点からの手術基準の構築	口頭	原太郎, 山口武人, 石井清文	JDDW2014(消化器病学会・消化器内視鏡学会・消化器外科学会合同)	2014年10月	国内
進行膵癌に対する化学放射線療法におけるメタリックステントの安全性に関する検討	ポスター	辻本彰子, 須藤研太郎, 三方林太郎, 杉田 統, 新井裕之, 喜多絵美里, 中村奈海, 相馬 寧, 鈴木 拓人, 三梨 桂子, 廣中 秀一, 中村 和貴, 原 太郎, 傳田忠道, 山口 武人	JDDW2014(消化器内視鏡学会)	2014年10月	国内
切除可能膵癌における術前胆管ドレナージの有無による胆管壁の病理学的検討	ポスター	辻本 彰子, 中村和貴, 伊丹 真紀子, 南金山 理乃, 杉田 統, 新井裕之, 喜多 絵美里, 北川 善康, 中村奈海, 須藤 研太郎, 原 太郎, 貝沼修, 山本 宏, 山口武人	第50回日本胆道学会学術集会	2014年9月	国内
術前画像に基づいたIPMN組織亜型予測診断 腸型IPMNの術前画像所見の特徴	口頭	原太郎, 石井清文, 池部大, 杉田統, 辻本彰子, 新井裕之, 喜多絵美里, 北川善康, 中村奈海, 相馬寧, 鈴木拓人, 須藤研太郎, 中村和貴, 傳田忠道, 山本宏, 山口武人	第45回日本膵臓学会大会	2014年7月	国内

膵癌に対する新たな治療戦略 非切除膵癌 切除不能膵癌における網羅的がんゲノム解析による個別化治療確立の試み	口頭	須藤研太郎,横井左奈,大平美紀,中村和貴,瀬座勝志,原太郎,傳田忠道,廣中秀一,三梨桂子,鈴木拓人,相馬寧,中村奈海,新井裕之,辻本彰子,喜多絵美里,杉田統,山口武人	第45回日本膵臓学会大会	2014年7月	国内
切除可能膵癌における術前胆管ドレナージの有無、ステント別の胆管壁の病理学的検討	口頭	辻本彰子,中村和貴,伊丹真紀子,杉田統,新井裕之,喜多絵美里,中村奈海,相馬寧,鈴木拓人,須藤研太郎,三梨桂子,廣中秀一,原太郎,傳田忠道,貝沼修,山本宏,山口武人	第98回日本消化器内視鏡学会関東地方会	2014年6月	国内
切除可能膵臓癌に対する術前胆管ドレナージ術の検討—金属ステントの可能性も含めて—	口頭	辻本彰子,山口武人,杉田統,新井裕之,喜多絵美里,中村奈海,相馬寧,鈴木拓人,須藤研太郎,中村和貴,三梨桂子,原太郎,傳田忠道	第87回日本消化器内視鏡学会総会	2014年5月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
S-1 in the treatment of pancreatic cancer	Sudo K, Nakamura K, Yamaguchi T.	World J Gastroenterol.	2014 Nov 7;20(41):15110-8.	国外
局所進行膵癌に対する化学放射線療法および化学療法を中心とした治療成績	須藤研太郎,中村和貴,原太郎,瀬座勝志,喜多絵美里,辻本彰子,廣中秀一,傳田忠道,三梨桂子,鈴木拓人,相馬寧,北川善康,中村奈海,新井裕之,杉田統,南金山理乃,山口武人	消化器内科 Vol.58 No.6	2014年6月	国内

学会等発表実績

委託業務題目	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究
分担研究者名	横須賀 収
機関名	千葉大学大学院医学研究院

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果					
発表題目	口頭・ポスター発表等の別	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
限局性膵管狭窄例に対するERCP下膵液細胞診の検討	ワークショップ	三方 林太郎 石原 武 横須賀 収	神戸(JDDW2014)	2015年10月	国内
膵癌早期診断におけるENPD留置下膵液細胞診の有用性の検討	パネルディスカッション	三方 林太郎 渡邊悠人 安井伸 石原 武 横須賀 収	北九州/小倉(第45回日本膵臓学会大会)	2015年7月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Androgen receptor signaling in hepatocellular carcinoma and pancreatic cancers.	Kanda T, Jiang X, <u>Yokosuka O</u>	World J Gastroenterol.	2014 Jul	国外
Preoperative diagnosis and surgical management for solid pseudopapillary neoplasm of the pancreas.	Hosokawa I, Shimizu H, Ohtsuka M, Kato A, Yoshitomi H, Furukawa K, Takayashiki T, Ishihara T, <u>Yokosuka O</u> , Miyazaki M.	J Hepatobiliary Pancreat Sci.	Epub 2014 Feb 17.	国外

委託業務題目	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究
分担研究者名	池田 公史
機関名	国立がん研究センター東病院

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果					
発表題目	口頭・ポスター発表等の別	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
膵癌患者に対するABI-007 (nab-paclitaxel)の臨床開発:日本人におけるABI-007+Gemcitabine療法第I/II相試験	口頭	上野秀樹、池田公史、古瀬純司	第100回日本消化器病学会総会	2014/4/24-26	国内
化学療法未治療の遠隔転移を有する膵癌に対するFOLFIRINOX併用療法の第II相臨床試験	口頭	福富晃、奥坂拓志、池田公史	第100回日本消化器病学会総会	2014/4/24-26	国内
Severe neural invasion related to cachexia in advanced pancreatic cancer	general poster session	Imoto A, Mitsunaga S, Ikeda M.	Digestive Disease Week 2014	4-6 May, 2014. Chicago	国外
切除不能進行・再発膵癌患者に対するABI-007+Gemcitabine療法第I/II相試験	口頭	池田公史、上野秀樹、上野誠、水野伸匡、井岡達也、小室泰司、中島貴子、古瀬純司。	第12回日本臨床腫瘍学会学術集会	2014/07/17-19	国内
進行膵がんにおけるゲムシタビン+エルロチニブ療法のゲムシタビン療法に対する優越性および効果予測因子の検討	口頭	高橋秀明、桑原明子、奥山浩之、大野泉、清水怜、光永修一、篠原旭、小林美沙樹、奥坂拓志、池田公史。	第12回日本臨床腫瘍学会学術集会	2014/07/17-19	国内
Loss of STAT3 tyrosine phosphorylation in tumor relates poor prognosis in patients with advanced pancreatic cancer	口頭	光永修一、池田公史、大野泉、清水怜、高橋秀明、奥山浩之、桑原明子、落合淳志	第12回日本臨床腫瘍学会学術集会	2014/07/17-19	国内
進行膵癌に対するmodified FOLFIRINOXの初期治療成績	口頭	清水 怜、光永修一、大野泉、高橋秀明、奥山浩之、桑原明子、池田公史。	第52回日本癌治療学会学術集会	2014/8/28-30	国内

進行膵がんにおける悪性腫瘍の家族歴と治療効果の検討	ポスター	高橋秀明、森実千種、桑原明子、奥山浩之、大野泉、清水怜、光永修一、林直美、篠原旭、小林美沙樹、近藤俊輔、上野秀樹、奥坂拓志、古瀬純司、池田公史	第52回日本癌治療学会学術集会	2014/8/28-30	国内
S100P tumor-marker response to chemotherapy in patients with advanced pancreatic cancer.	general poster session	Mitsunaga S, Umemoto K, Watanabe K, Okuyama H, Hashimoto Y, Takahashi H, Ohno I, Shimizu S, Ochiai A, <u>Ikeda M.</u>	ASCO-GI2015 Gastrointestinal Cancers Symposium	January 15-17 2015 San Francisco	国外
Gemcitabine (GEM) efficacy on unresectable invasive pancreatic carcinoma associated with intraductal papillary mucinous neoplasms.	general poster session	Hashimoto Y, Shimizu S, Watanabe K, UmemotoK, Okuyama H, TakahashiH, OhnoI, Mitsunaga S, <u>Ikeda M.</u>	ASCO-GI2015 Gastrointestinal Cancers Symposium	January 15-17 2015 San Francisco	国外

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Safety, Tolerability, Pharmacokinetics and Antitumor Activity of Ganitumab, an Investigational Fully Human Monoclonal Antibody to Insulin-like Growth Factor Type 1 Receptor, Combined with Gemcitabine as First-line Therapy in Patients with Metastatic Pancreatic Cancer: A Phase 1b Study.	Okusaka T, <u>Ikeda M.</u> , Fukutomi A, Kobayashi Y, Shibayama K, Takubo T, Gansert J.	Jpn J Clin Oncol	2014 May;44(5):442-7	国外
Prognostic impact of M2 macrophages at neural invasion in patients with invasive ductal carcinoma of the pancreas.	Sugimoto M, Mitsunaga S, Yoshikawa K, Kato Y, Gotohda N, Takahashi S, Konishi M, <u>Ikeda M.</u> , Kojima M, Ochiai A, Kaneko H	Eur J Cancer	2014 Jul;50(11):1900-8.	国外
Phase II study of FOLFIRINOX for chemotherapy-naïve Japanese patients with metastatic pancreatic cancer.	Okusaka T, <u>Ikeda M.</u> , Fukutomi A, Ioka T, Furuse J, Ohkawa S, Isayama H, Boku N.	Cancer Sci	2014 Oct;105(10):1321-6	国外

膵がんの術後化学療法の実際	<u>池田公史</u>	Medical Practice	31(3)969-973,2014.	国内
---------------	-------------	------------------	--------------------	----

委託業務題目	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究
分担研究者名	清水京子
機関名	東京女子医大消化器内科

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果					
発表題目	口頭・ポスター発表等の別	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
膵癌による悪性十二指腸狭窄に対する内視鏡的十二指腸ステント留置術の検討	口演	貝瀬智子、高山敬子、塩賀太郎、門前正憲、長尾健太、田原純子、清水京子、白鳥敬子	第45回日本膵臓学会大会	2014年7月11-12日	国内
家族歴・既往歴を中心とした膵管内乳頭粘液性腫瘍の悪性化リスクの検討	ワークショップ	貝瀬智子、清水京子、白鳥敬子	第56回日本消化器病学会大会	2014年10月23-26日	国内
膵癌診療ガイドライン2013改訂版の診療部門における今後の課題	特別企画	清水京子、白鳥敬子	第45回日本膵臓学会大会	2014年7月11-12日	国内
Increased risk of pancreatic cancer in patients with intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas and a family history or past history of cancer of the pancreas or other organs	general poster session	T Kaise, K Shimizu, K Ajihara, J Akao, T Shioga, K Nagao, J Tahara, Y Takayama, K Shiratori, W Izumo, T Hatori, T Furukawa	2014APA/JPS meeting	November 5-8, 2014	国外

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Molecular biomarkers for progression of intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas	Kuboki Y, Shimizu K, Hatori T, Yamamoto M, Shibata N, Shiratori K, Furukawa T.	Pancreas	2014	国外

委託業務題目	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究
分担研究者名	大川伸一
機関名	地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果					
発表題目	口頭・ポスター発表等の別	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
膵がん診断における病理診断の進歩 ~細胞診の過去・現在・未来~	特別企画 [口演]	大川伸一、上野誠、小林智、森本学	第55回日本臨床細胞学会	6/7, 2014	国内
肝胆膵がんにおける化学療法時の悪心嘔吐観察研究	口演	大川伸一、上野誠、小林智、森本学馬場秀夫・杉森一哉・古瀬純司・山本和秀・南博信・北川雄光・林和彦・権雅憲・若林剛・相羽恵介	第52回日本癌治療学会	8/29, 2014	国内
Risk factors for 6-month continuation of S-1 adjuvant chemotherapy for resected pancreatic cancer.	general poster session	Y Katayama, T Aoyama, M Murakawa, M Asari, K Yamaoku, A Kanazawa, A Higuchi, M Shiozawa, S Kobayashi, M Ueno, M Morimoto, S Ohkawa, M Akaike, N Yamamoto, T	ASCO-GI 2015	1-15-17, 2015	国外
The biomarkers of gemcitabine + erlotinib treatment in advanced pancreatic cancer.	general poster session	Irie K, Ueno M, Gouda Y, Kobayashi S, Ohkawa S, Morimoto M	ASCO GI 2014	1/16-18, 2014	国外

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Phase II study of FOLFIRINOX for chemotherapy-naïve Japanese patients with metastatic pancreatic cancer	Takuji Okusaka, Masafumi Ikeda, Akira Fukutomi, Tatsuya Ioka, Junji Furuse, Shinichi Ohkawa, Hiroyuki Isayama and Narikazu Boku	Cancer Science	2014 Oct;105(10):1321-6. doi: 10. 1111/cas. 12501 epub[ahead of print]	国外

Risk factors for 6-month continuation of S-1 adjuvant chemotherapy for resected pancreatic cancer	Toru Aoyama, Yusuke Katayama, Masaaki Murakawa, Masahiro Asari, Amane Kanazawa, Akio Higuchi, Manabu Shiozawa, Satoshi Kobayashi, Manabu Morimoto, <u>Shinichi Ohkawa</u> , Makoto Akaike, Naoto Yamamoto, Takaki Yoshikawa, Yasushi Rino, Munetaka	Canser chemother Pharmacol	DOI 10.1007/s00280-014-2601-y	国外
Case-control study of diabetes-related genetic variants and pancreatic cancer risk in Japan.	Kuruma S, Egawa N, Kurata M, Honda G, Kamisawa T, Ueda J, Ishii H, Ueno M, Nakao H, Mori M, Matsuo K, Hosono S, <u>Ohkawa S</u> , Wakai K, Nakamura K, Tamakoshi A, Nojima M, Takahashi M, Shimada K, Nishiyama T, Kikuchi S, Lin Y.	World J Gastroenterol.	2014 Dec 14;20(46):17456-62. doi: 10.3748/wjg.v20.i46.17456	国外
Lack of associations between genetic polymorphisms in GSTM1, GSTT1 and GSTP1 and pancreatic cancer risk: a multi-institutional case-control study in Japan.	Yamada I, Matsuyama M, Ozaka M, Inoue D, Muramatsu Y, Ishii H, Junko U, Ueno M, Egawa N, Nakao H, Mori M, Matsuo K, Nishiyama T, <u>Ohkawa S</u> , Hosono S, Wakai K, Nakamura K, Tamakoshi A, Kuruma S, Nojima M, Takahashi M, Shimada K, Yagyu K, Kikuchi S, Lin Y.	Asian Pac J Cancer Prev.	2014;15(1):391-5.	国外
膵癌化学療法の新たな展開 切除不能膵癌に対するFOLFIRINOX治療の実際	<u>大川伸一</u>	膵臓	2014 29(6): 885-891	国内

委託業務題目	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究
分担研究者名	木田光広
機関名	北里大学

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果					
発表題目	口頭・ポスター発表等の別	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
膵癌の早期発見のために、当院で経験したTS1膵癌の検討	ポスター	奥脇 興介, 木田 光広, 金子 亨, 山内 浩史, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 今泉 弘, 小泉 和二郎	第56回日本消化器病学会大会	2014/10/25	国内
膵胆管合流異常における悪性腫瘍の検討	ポスター	長谷川 力也, 木田 光広, 金子 亨, 山内 浩史, 徳永 周子, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 今泉 弘, 隈元 雄介, 渡邊 昌彦, 小泉 和二郎	第56回日本消化器病学会大会	2014/10/24	国内
当院での膵胆管合流異常における先天性胆道拡張症の検討	ポスター	長谷川 力也, 木田 光広, 金子 亨, 徳永 周子, 山内 浩史, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 今泉 弘, 隈元 雄介, 渡邊 昌彦, 小泉 和二郎	第50回日本胆道学会学術集会	2014/9/26	国内
PNECの臨床病理学的特徴と真のNECを推定するための因子の検討	ポスター	升谷 寛以, 奥脇 興介, 木田 光広, 金子 亨, 山内 浩史, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 今泉 弘, 小泉 和二郎	第88回日本消化器内視鏡学会総会	2014/10/24	国内

中下部悪性胆道狭窄に対するfully covered BONA stentの有効性の検討 fully covered Wallflex stentとの比較	ポスター	麻生 健一郎, 宮澤 志朗, 木田 光広, 金子 亨, 山内 浩史, 奥脇 興介, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 菊池 秀彦, 渡辺 摩也, 今泉 弘, 小泉 和三郎	第88回日本消化器内視鏡学会総会	2014/10/24	国内
中下部悪性胆道狭窄例における術前内視鏡的胆道ドレナージ後胆管炎が術後合併症に与える影響	ポスター	金子 亨, 今泉 弘, 木田 光広, 山内 浩史, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 菊池 秀彦, 竹澤 三代子, 小泉 和三郎	第88回日本消化器内視鏡学会総会	2014/10/24	国内
術後再建腸管に対するShort type SBE assisted ERCPにおける盲端到達困難例の検討	ポスター	宮田 英治, 木田 光広, 山内 浩史, 金子 亨, 渡邊 晃識, 徳永 周子, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 今泉 弘, 小泉 和三郎	第88回日本消化器内視鏡学会総会	2014/10/24	国内
GEM+S-1療法を施行後にR0手術を施行し得た局所進行膵癌の1例	ポスター	島津 将, 田島 弘, 西澤 伸恭, 久保 任史, 海津 貴史, 片桐 寛之, 隈元 雄介, 奥脇 興介, 木田 光広, 小泉 和三郎, 渡邊 昌彦	第52回日本癌治療学会学術集会	2014/8/29	国内
PNET診療ガイドラインをめぐって 膵神経内分泌腫瘍の予後不良因子の検討	ミニパネルディスカッション	奥脇 興介, 木田 光広, 升谷 寛以, 宮田 英治, 松本 高明, 金子 亨, 徳永 周子, 山内 浩史, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 今泉 弘, 小泉 和三郎	第45回日本膵臓学会	2014/7/12	国内

膵癌早期診断を目指して 当院におけるTS1膵癌の検 討	パネルディ スカッション	松本 高明, 木田 光広, 奥脇 興介, 山内 浩史, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 菊 地 秀彦, 渡辺 摩 也, 今泉 弘, 小泉 和二郎, 田島 弘, 久保 任史, 海津 貴史, 片桐 寛之, 隈元 雄介, 渡邊 昌彦	第45回日本膵臓学 会	2014/7/12	国内
膵癌に対する新たな治療 戦略 非切除膵癌 切除不 能膵癌患者における悪性 十二指腸狭窄に対する2種 の十二指腸ステントの比較 検討	ミニシンポ ジウム	升谷 寛以, 奥脇 興介, 木田光広, 山内 浩史, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 今泉 弘, 徳永 周 子, 竹澤 三代子, 小泉 和二郎	第45回日本膵臓学 会	2014/7/12	国内
EUS-FNAによる診断と治 療の実際と工夫 当院にお けるEUS-FNA下膵嚢胞ド レナージ術の手技と工夫	パネルディ スカッション	金子 亨, 木田光 広, 山内 浩史, 奥 脇 興介, 宮澤 志 朗, 岩井 知久, 菊 池 秀彦, 竹澤 三 代子, 今泉 弘, 小 泉 和二郎	第98回日本消化器 内視鏡学会関東地 方会	2014/6/15	国内
胆膵ステント治療の現状と 展望 中下部悪性胆管狭窄 に対するcovered metallic stent選択 partially coveredかfully coveredか	シンポジウ ム	宮澤 志朗, 木田 光広, 金子 亨, 徳 永 周子, 山内 浩 史, 奥脇 興介, 岩 井 知久, 菊地 秀 彦, 竹澤 三代子, 渡邊 摩也, 今泉 弘, 小泉 和二郎	第98回日本消化器 内視鏡学会関東地 方会	2014/6/15	国内
逆刃付側孔を有するEUS- FNA針の膵腫瘍、粘膜下 腫瘍に対する診断能	一般口演	岩井 知久, 木田 光広, 山内 浩史, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 竹澤 三代 子, 菊池 秀彦, 渡 辺 摩也, 今泉 弘, 小泉 和二郎	第100回日本消化器 病学会総会	2014/4/26	国内
当院における超高齢者の 悪性胆道狭窄に対する内 視鏡治療の現状	ポスター	奥脇 興介, 木田 光広, 升谷 寛以, 三島 孝仁, 渡辺 晃識, 金子 亨, 徳 永 周子, 山内 浩 史, 宮澤 志朗, 岩 井 知久, 竹澤 三 代子, 今泉 弘, 小 泉 和二郎	第87回日本消化器 内視鏡学会	2014/5/15	国内

胆膵悪性腫瘍に伴う十二指腸狭窄における2種の十二指腸ステントの有用性の比較検討	一般口演	升谷 寛以, 木田光広, 奥脇 興介, 徳永 周子, 山内浩史, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤三代子, 今泉 弘, 小泉 和二郎	第87回日本消化器内視鏡学会	2014/5/17	国内
胆膵インターベンショナルEUSの偶発症とその対策 感染性膵壊死に対する内視鏡的ネクロセクトミーの偶発症とその対策	パネルディスカッション	安田 一郎, 木田光広, 伊佐山 浩通, JENIPaNスタディグループ	第87回日本消化器内視鏡学会	2014/5/15	国内
胆膵インターベンショナルEUSの偶発症とその対策 当院におけるInterventional EUSでの偶発症に対する検討と工夫	パネルディスカッション	金子 亨, 木田光広, 今泉 弘	第87回日本消化器内視鏡学会	2014/5/15	国内
Recent advance of Bilio-Pancreas Endoscopy	ランチョン	Mitsihiro Kida	Taiwan GEST & DEST	2014/3/9	台湾
What is feasible with EUS-FNA in clinical practice	特別講演	Mitsihiro Kida	Malaysia Endoscopy 2014	2014/3/30	マレーシア
Current status & Future application of interventional EUS	特別講演	Mitsihiro Kida	Korea Bili-Pancreas Congress	2014/4/19	韓国
Pancreas Cancer - strategies for screening & diagnosis-	特別講演	Mitsihiro Kida	Singapore GIHep	2014/6/21	シンガポール
Early Bili-Pancreas Cancer -screening & diagnosis-	特別講演	Mitsihiro Kida	Tawan 18th EUS & 15th Early GI meeting	2014/7/26	台湾
EUS-PD	招待講演	Mitsihiro Kida	Asan AEG meeting	2014/8/23	韓国
How to get appropriate tissue with EUS-FNA	招待講演	Mitsihiro Kida	Asan AEG meeting	2014/8/23	韓国
Does ChemoTx prolong the stent patency in malignant distal biliary stricture ?	ポスター	Mitsihiro Kida	UEGW	2014/10/25	オーストリア

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Short-type and conventional single-balloon enteroscopes for endoscopic retrograde cholangiopancreatography in patients with surgically altered anatomy: Single-center experience.	Iwai T, <u>Kida M</u> , Yamauchi H, Imaizumi H, Koizumi W.	Dig Endosc.	2014 Apr	国外
First case of IgG4-related sclerosing cholangitis associated with autoimmune hemolytic anemia.	Masutani H, Okuwaki K, <u>Kida M</u> , Yamauchi H, Imaizumi H, Miyazawa S, Iwai T, Takezawa M, Koizumi W	World J Gastroenterol	2014 Jul	国外
EUS-FNAで診断に至った退形成性膵管癌の1例	石田 奈々, 矢野 貴史, 三島 孝仁, 山根 敬子, 長谷川 力也, 中目 哲平, 石黒 康浩, 村田 東, 荒木 正雄, 風間 暁男, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 木田 光広, 三枝 信	Progress of Digestive	2014/06	国内

委託業務題目	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究
分担研究者名	峯 徹哉
機関名	東海大学

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果					
発表題目	口頭・ポスター発表等の別	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
東海大学胆膵チームにおける胆膵内視鏡の教育法.	ワークショップ	峯 徹哉	第99回日本消化器内視鏡学会関東地方会	2014.12	国内
当院における膵頭部腫瘍性病変に対する術前内視鏡的ドレナージの治療成績	デジタルポスター	川島洋平,川口義明,安斎和也,丸野敦子,小川真実,峯徹哉,和泉秀樹,古川大輔,矢澤直樹,中郡聡夫.	第88回日本消化器内視鏡学会総会	2014.10.	国内
閉塞性慢性膵炎に対する膵管ステント治療の膵機能に対する効果の検討	ワークショップ	川口義明,小川真実,峯徹哉	第56回日本消化器病学会大会	2014.9	国内
膵癌診療ガイドライン2013とNCCNガイドラインとの比較.	ミニ特別企画	中郡聡夫,矢澤直樹,古川大輔,和泉秀樹,山田美鈴,増岡義人,小川真実,川口義明,峯徹哉	第45回日本膵臓学会大会	2014.7	国内
切除可能膵癌に対する術前および術後化学療法	シンポジウム	中郡聡夫,矢澤直樹,古川大輔,和泉秀樹,山田美鈴,増岡義人,小澤壯治,貞廣莊太郎,小川真実,川口義明,峯徹哉,安田聖栄.	第45回日本膵臓学会大会	2014.7	国内
当院における膵嚢胞性病変に対する経乳頭的ドレナージの治療成績.	一般発表	川島洋平,川口義明,丸野敦子,小川真実,峯徹哉	第45回日本膵臓学会大会	2014.7	国内

閉塞性慢性膵炎に対する内視鏡治療と外科治療の現状	シンポジウム	川口義明,中郡聡夫,峯徹哉	第87回日本消化器内視鏡学会総会	2014.5	国内
--------------------------	--------	---------------	------------------	--------	----

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
閉塞性慢性膵炎に対する内視鏡治療と外科治療の現状	川口義明,中郡聡夫,峯徹哉	日本消化器内視鏡学会雑誌	2014.4	国内

委託業務題目	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究
分担研究者名	水野伸匡
機関名	愛知県がんセンター中央病院

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果					
発表題目	口頭・ポスター発表等の別	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
The role of gastroduodenal stent intervention in the management of pancreatic cancers.	oral	Sato T, Hara K, Mizuno N, Hijioka S, Maeda S, Nakajima A, Kubota K, Yamao K.	The 4th International Forum, 第100回日本消化器病学会総会	2014年4月23-26日、東京	国内
膵神経内分泌腫瘍診断におけるピットフォールと超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)の位置づけ	口頭	水野伸匡、脇岡範、原和夫、今岡大、清水泰博、細田和喜、谷田部恭、山雄健次	第2回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会	2014年9月20日、東京	国内
Efficacy, safety and pharmacokinetics (PK) of weekly nab-paclitaxel (nab-P) plus Gemcitabine (G) in Japanese patients (pts) with metastatic pancreatic cancer (MPC): phase I/ II trial	oral	A. Kasuga, H. Ueno, M. Ikeda, M. Ueno, N. Mizuno, T. Ioka, Y. Omuro, T. Nakajima, J. Furuse	APA/JPS Joint Meeting, 2014	Nov 5-8, 2014, Hawaii	国外
Clinical course of poorly differentiated pancreatic adenocarcinoma after surgical resection	poster	Nobuhiro Hieda, Hiroshi Imaoka, Nozomi Okuno, Tsukasa Yoshida, Takamitsu Sato, Hideharu Tsutsumi, Toshihisa Hujiyoshi, Tatsuji Yogi, Makoto Ishihara, Tsutomu Tanaka, Susumu Hijioka, Kazuo Hara, Masahiro Tajika, Nobumasa Mizuno, Yasumasa Niwa, Kenji Yamao	APA/JPS Joint Meeting, 2014	Nov 5-8, 2014, Hawaii	国外

A phase I /II trial of weekly nab-paclitaxel (nab-P) + Gemcitabine (GEM) in Japanese patients (pts) with metastatic pancreatic cancer (MPC)	oral	Masafumi Ikeda, Hideki Ueno, Makoto Ueno, <u>Nobumasa Mizuno</u> , Tatsuya Ioka, Yasushi Omuro, Takako Nakajima, Junji Furuse	第12回日本臨床腫瘍学会学術集会、福岡	2014年7月17-19日	国内
膵低分化型腺癌の術後経過 ～分化度からみた浸潤性膵管癌の予後の違い	口演	稗田信弘、今岡大、水野伸匡、清水泰博、原和生、肱岡 範、田近正洋、田中努、石原 誠、丹羽康正、山雄健次	第12回日本臨床腫瘍学会学術集会、福岡	2014年7月17-19日	国内
膵神経内分泌腫瘍の遠隔転移に関連する因子の臨床病理学的検討	口演	堤 英治、肱岡 範、水野伸匡	JDDW 2014、神戸	2014年10月23-26日	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Combination of cyst fluid CEA and CA 125 is an accurate diagnostic tool for differentiating mucinous cystic neoplasms from intraductal papillary mucinous neoplasms	Nagashio, Y. Hijioka, S. Mizuno, N. Hara, K. Imaoka, H. Bhatia, V. Niwa, Y. Tajika, M. Tanaka, T. Ishihara, M. Shimizu, Y. Hosoda, W. Yatabe, Y. Yamao, K.	Pancreatology	2014;14:503-9.	国外

<p>Ring-enhancement pattern on contrast-enhanced CT predicts adenosquamous carcinoma of the pancreas: A matched case-control study</p>	<p>Hiroshi Imaoka, Yasuhiro Shimizu, Nobumasa Mizuno, Kazuo Hara, Susumu Hijioka, Masahiro Tajika, Tsutomu Tanaka, Makoto Ishihara, Takeshi Ogura, Tomohiko Obayashi, Akihide Shinagawa, Masafumi Sakaguchi, Hidekazu Yamaura, Mina Kato, Yasumasa Niwa, Kenji Yamao</p>	<p>Pancreatology</p>	<p>2014;14:221-6.</p>	<p>国外</p>
<p>Natural history of branch duct intraductal papillary mucinous neoplasm with mural nodules: a Japan pancreas society multicenter study.</p>	<p>Kobayashi, G. Fujita, N. Maguchi, H. Tanno, S. Mizuno, N. Hanada, K. Hatori, T. Sadakari, Y. Yamaguchi, T. Tobita, K. Doi, R. Yanagisawa, A. Tanaka, M.</p>	<p>Pancreas</p>	<p>2014;43:532-8.</p>	<p>国外</p>
<p>Clinical characteristics of adenosquamous carcinoma of the pancreas: a matched case-control study.</p>	<p>Imaoka, H. Shimizu, Y. Mizuno, N. Hara, K. Hijioka, S. Tajika, M. Kondo, S. Tanaka, T. Ogura, T. Obayashi, T. Hasegawa, T. Niwa, Y. Yamao, K.</p>	<p>Pancreas</p>	<p>2014;43:287-90.</p>	<p>国外</p>

<p>Can long-term follow-up strategies be determined using a nomogram-based prediction model of malignancy among intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas?</p>	<p>Hijioka, S. Shimizu, Y. Mizuno, N. Hara, K. Imaoka, H. Mekky, M. A. Bhatia, V. Nagashio, Y. Hasegawa, T. Shinagawa, A. Sekine, M. Tajika, M. Tanaka, T. Ishihara, M. Niwa, Y. Yamao, K.</p>	<p>Pancreas</p>	<p>2014;43:367-72.</p>	<p>国外</p>
<p>Does the WHO 2010 classification of pancreatic neuroendocrine neoplasms accurately characterize pancreatic neuroendocrine carcinomas?</p>	<p>Hijioka, S. Hosoda, W. Mizuno, N. Hara, K. Imaoka, H. Bhatia, V. Mekky, M. A. Tajika, M. Tanaka, T. Ishihara, M. Yogi, T. Tsutumi, H. Fujiyoshi, T. Sato, T. Hieda, N. Yoshida, T. Okuno, N. Shimizu, Y. Yatabe, Y. Niwa, Y. Yamao, K.</p>	<p>J Gastroenterol</p>	<p>2014 [Epub ahead of print]</p>	<p>国外</p>